

# 一 般 質 問 要 綱

令和3年第2回3月定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
1	14	齋藤 仁一	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の市内の実態及び医療体制がどうなっているのか伺いたい。</p> <p>(2) ワクチン接種の有効性・安全性及び副反応についてどのようになっているのか。また、市民への周知をどうするのか伺いたい。</p> <p>(3) ワクチン接種の方法とスケジュール、また、高齢者などの足の確保をどうするのか伺いたい。</p> <p>(4) 既往症のある方々への接種をどのように進める考えか伺いたい。</p> <p>(5) 今後、新型コロナウイルス感染症重症患者用の施設が必要であると考えが伺いたい。</p> <p>2 東京オリンピック・パラリンピックについて</p> <p>(1) コロナ禍の中、東京オリンピック・パラリンピックを開催できる要件は何か伺いたい。</p> <p>(2) 東京オリンピック聖火リレーが開催される予定であるが、コロナ禍の中、聖火リレーランナーの安全性の確保及び応援観客の感染リスクへの配慮など、どのような形で実行するのか。また、この間の組織委員会森前会長の発言による市内聖火リレーランナーやボランティアへの影響はなかったのか伺いたい。</p> <p>(3) 新年度のホストタウンとしての交流事業は何か、また、事業開催の安全対策をどう講じるのか伺いたい。</p> <p>3 フッ化物洗口について</p> <p>(1) コロナ禍の中、2020年度の4歳児から小学校6年生までのフッ化物洗口はどのように行われてきたのか伺いたい。</p> <p>(2) この事業は2018年度から導入されてきたが、その検証作業は行われたのか。行われたとすればその結果はどうなっているのか伺いたい。</p> <p>(3) フッ化物洗口については、様々な治験が出ているが、これらの検証を行ってきたのか。行ったとすればどのような結論に達しているのか伺いたい。</p>
2	21	山口 和男	<p>1 新型コロナウイルス特措法と感染症法の改正案に対する市長の見解とワクチン接種について</p> <p>新型コロナウイルスの感染は昼夜を問わず拡大するといわれる中、臨時国会を昨年12月5日に閉じ、今年1月18日の通常国会開会まで40日以上空白期間中に、2回目の緊急事態宣言を出さざるを得なくなった菅首相は、通常国会の施政方針演説で11都道府県への緊急事態宣言を早急に脱却すると表明をし、その中で国民の「安心」と「希望」に満ちた社会実現を訴えて、自ら「最前線」に立ちながら医療体制の逼迫を踏まえ、病床確保などを「強力に進める」と述べました。</p> <p>また、政府系金融機関による無利子、無担保融資の上限を「4,000万円から6,000万円へ引き上げる」とし、飲食店の時短営業の実効性を高めるため、補償と罰則を盛り込んだ新型コロナ特別措置法改正案の提出と、ワクチン接種を対策の「決め手」として、2月下旬の開始</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>を目標とすることを明言しました。</p> <p>このことから以下の点について伺います。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス特措法と感染症法の改正案に対する市長の見解について</p> <p>ア 特措法で行政罰を設けますが、これは基本的人権を蹂躪し、私権の制限につながります。支援を「講ずるものとする」では義務規定にする部分は評価できますが、金額を入れて過料を課しながら、補償はあいまいにとどめるのは、事業者や国民に理解は得られないと私は考えます。</p> <p>政府ならびに国会もこのような声に耳を傾け、慎重にすべきと考えますが市長の見解を伺います。</p> <p>イ 感染症法では、1年以下の懲役か100万円以下の罰金とあるが、懲役刑を科す、これは非常に重いし、医療機関名の公表も同じと考えますし、懲役刑は認めてはならないと私は思います。</p> <p>また、感染者受入れの協力要請もマンパワー不足の中では、その効果に疑問符が付きますが、市長の考えはいかがか伺います。</p> <p>(2) ワクチン接種について</p> <p>ア 接種については、予防接種法及び検疫法の一部を改正する法律の中で、「ワクチン接種は厚生労働大臣の指示のもと都道府県の協力により市町村において予防接種を実施するものとする。」とあります。本市へはどのような説明があったのか伺います。</p> <p>また、それを受けて、具体的にどのような手順で接種を行うのか、こと細部まで説明を求めます。</p> <p>イ 接種の時期と優先順位の考え方などについて伺います。</p> <p>ウ 日本での接種はファイザー社製のワクチンかと思われませんが、国から本市までの供給予定ルートを伺います。</p> <p>エ 本市は、1億5,100万円の予算で全市民の7割分を見ているが、ワクチン供給の見通しと、予算に齟齬は生じないと断言できますか伺います。</p> <p>オ 接種場所は、各医療機関において個別に実施するとのことですが、聞くところによれば、ワクチンは1,000人分が1つの単位とされています。これは、接種場所1か所で1,000人に接種すると理解してよろしいか伺います。</p> <p>カ ワクチンは、マイナス75度で保管しなければならないと言われますが、保管庫の設置場所と方法、その考え方を伺います。</p> <p>キ 冷凍庫が行き渡らない会場ではドライアイスを入れた箱で保管することになる。ワクチンは1セットで1,000回分、これを10日で使い切る必要がある。このため国は会場ごとに1日100人が接種できる態勢を自治体に求めていると聞くが間違いはないか伺います。</p> <p>また、10日で使い切る必要のエビデンスを伺います。</p> <p>ク 欧米ではワクチン接種後に重いアレルギー反応のアナフィラ</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>キシー症状が少数報告されたことも報道されました。わが国は、150人を対象に臨床試験を実施して、1月中にその結果を出すそうですが、150人だけで大丈夫でしょうか。その結果がわかれば示してください。</p> <p>ケ ワクチンの効果と安全性をどのように捉えているのか伺います。</p> <p>コ 市民への接種は16歳以上となるようですが、それ以下の市民への接種はどのように考えていますか伺います。</p> <p>また、若年層ほど感染力が強いと懸念を示す専門家の警鐘もあり、それをどのように受け止めていますか伺います。</p> <p>サ 1月20日の厚生労働大臣の会見で、ワクチン接種の想定スケジュールが示されました。この会見後、国や県からどんな説明がありましたか、伺います。</p> <p>シ 接種に対する市民への周知の仕方と対策を伺います。</p> <p>ス 安全心理学を専門とする土田昭司関西大学教授が、昨年12月に18都道府県の男女2,500人に行った調査では「新型コロナウイルスのワクチンに軽微でない副作用がある」と考えた人は28%に上り、「接種を希望する」と答えた人は47%、「接種したくない人」は23%を数え、安全性を懸念する人は少なくないことがわかりました。</p> <p>集団免疫の早期獲得にワクチン接種は必要だが、法改正では接種は努力義務で、判断は個人に委ねられたので、土田教授は「有効性とリスクを正しく判断できるように、国や自治体は世界のワクチン接種の状況と副作用の割合などの情報を早めに詳しく伝える必要がある」とのことですが、このことをどのように捉えていますか伺います。</p>
3	3	山口文章	<p>1 コミュニティ・スクールについて</p> <p>本市では、令和元年度よりコミュニティ・スクールのモデル事業として、喜多方一小・塩川小の2校、令和2年度は喜多方二小・関柴小・堂島小の3校で実施しています。令和3年度からは、市内小中学校全校で実施になります。このコミュニティ・スクールとは、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の実現に向けた取組と考えられますが、本市のコミュニティ・スクールについて伺います。</p> <p>(1) コミュニティ・スクールについて</p> <p>コミュニティ・スクールとは学校運営協議会を設置した学校となっていますが、学校運営協議会について伺います。</p> <p>(2) モデル事業として実施している5校について</p> <p>令和元年度から実施している2校の実績と評価と、2年度より実施の3校の実績について伺います。</p> <p>(3) 今後の進め方について</p> <p>ア コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一つの取組として進めていきますが、地域学校協働活動推進員の他に、地域学校協働本部を整備することが必要と思います。当局の考えを伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>イ この全体的な取組は、学校と地域が一体となって協力し共通の目標に向けた活動となりますが、この活動について考えを伺います。</p> <p>2 消防団の現状について</p> <p>現在、消防団を取り巻く環境が全国的に悪化しております。特に消防団員数が年々減少しており、消防庁では危機的状況と判断しております。</p> <p>その問題に歯止めをかけるため、総務省は団員の報酬や出勤手当の引上げを視野に様々な待遇改善の検討を始めました。これらの状況を踏まえて本市消防団の現状と今後どのように対応するのか伺います。</p> <p>(1) 本市消防団の現状について</p> <p>ア 活動困難な団員の把握ができていますのか伺います。</p> <p>イ 団員を確保するには、どうすれば良いのか市としての考えを伺います。</p> <p>(2) 消防団再編について</p> <p>ア 現在の進行状況について伺います。</p> <p>イ 再編時、新たな組織の立ち上げなど検討しているのか伺います。</p> <p>(3) 消防団の課題について</p> <p>ア 今後の消防行事の在り方について伺います。</p> <p>イ 現状使用している防災情報メールについて、また、今後防災情報を違う形で周知する方法を検討しているのか伺います。</p>
4	19	後藤 誠 司	<p>1 新型コロナウイルスワクチン接種について</p> <p>(1) 接種方法について伺います。</p> <p>ア 医療機関による個別接種の予定ですが、体育館等での集団接種の考えはないか伺う。</p> <p>イ 人口の7割の方の接種を想定されていますが、個別接種での対応で大丈夫か伺う。</p> <p>ウ インフルエンザワクチン接種のようにとのことですが、本市での過去3年間のインフルエンザワクチン接種の実績を伺う。</p> <p>エ 医療機関での個別接種の場合、一般患者との混在や副反応をみる経過観察場所での密集の懸念があると思うが、いかがか伺う。</p> <p>オ 医師会との調整の進捗はいかがか伺う。</p> <p>(2) 高齢者や運転免許返納者等への接種場所までの送迎の考えを伺います。</p> <p>(3) 接種体制に関する相談窓口について伺います。</p> <p>ア 時期と場所について</p> <p>イ 方法について</p> <p>(4) 3月中旬から医療従事者への優先接種を始め、4月から高齢者接種、その後基礎疾患を有する者を含む一般接種となるが、どの程度の期間を見込むのか伺います。</p> <p>(5) 国・県からの情報の提供状況を伺います。</p> <p>2 小中学校適正規模適正配置の実施計画について</p> <p>先日の全員協議会において、小中学校適正規模適正配置実施計画</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>(案) たたき台が示されました。地域設定(学区)検討の中で、コミュニティのまとまりを重視し、原則として合併前の市町村の範囲での検討や通学時間・通学距離へ配慮している点は評価をいたします。</p> <p>議会の検討特別委員会審査報告で、今年の3月定例議会で提言した項目に沿って以下の点を伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 地域ごとの学校規模については複数の案が示されると思うが、提示には地域への丁寧な説明と、実施については地域の合意で進めるといふ点についてはいかがか伺います。</li> <li>(2) 各地域の歴史や地域活動への十分な配慮、及び保護者の意向の把握、通学の時間・距離などの条件を精査し、通学区域の検討をされたいという点についてはいかがか伺います。</li> <li>(3) 魅力ある学校づくりで、小中一貫校、義務教育校、小規模特認校制度の研究検討についてはいかがか伺います。</li> <li>(4) 人口減少社会に対する市の各種施策との関連性に留意して取り組まされたいという点についてはいかがか伺います。</li> <li>(5) 進捗状況については、逐次、全員協議会等において協議、報告されたいという点についてはいかがか伺います。</li> </ol>
5	7	渡部一樹	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 中期財政計画について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 財政の硬直化(=経常収支比率の高まり)が進んでいるが対応策はどのように考えているのか見解を伺いたい。</li> <li>(2) 市債及び債務負担行為残高の減少ペースに鈍化が見られるが、今後の対応をどのように考えているのか見解を伺いたい。</li> <li>(3) 今後大規模な災害や大型事業が続いた場合、たちまち財政は厳しくなるものと考えている。歳出削減の具体策について伺いたい。</li> <li>(4) 人件費の中で「会計年度任用職員制度の利活用も踏まえた職員数の減少」が明記されたが、今後どの程度会計年度任用職員を増員していく考えなのか見解を伺いたい。</li> </ol> </li> <li>2 小中学校適正規模適正配置について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) なぜ上三宮小学校への対応を先行検討せざるを得なくなったのか。また、これまで答弁してきた「市域全体的な適正配置の視点」に反するのではないか。今回の対応は市教委の検討が遅れたために起こった結果ではないか見解を伺いたい。</li> <li>(2) シミュレーションでなぜ2060(令和42)年の将来推計としたのか。現状値とのかい離が大きいために誤った結論を導いてしまう可能性があると考えが見解を伺いたい。</li> <li>(3) 中学校についてはある程度の規模を確保するために地域設定(学区)の考え方を変更すべきと考えるが見解を伺いたい。</li> <li>(4) 「同じ小学校に通学している児童は、同じ中学校へ進学することを基本とする」は、第一小学校のことを指しているが具体的内容について伺いたい。</li> </ol> </li> </ol>
6	12	長澤勝幸	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 コロナ感染症予防の強化対策について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 感染拡大防止へPCR検査の具体的対応について</li> </ol> </li> </ol>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>ア 会津において、南会津で新型コロナによる高齢者施設でのクラスターが発生し、深刻な状態になっている。これらを対岸の火事ではなく、本市の対策に照らし合わせ、どのように分析し対応しようとしているのか。</p> <p>イ 本市において、県から行政検査の指定を受けた医療機関はどれくらいになるのか。また、市が進める介護施設利用者のPCR検査に対応できる医療機関の数と柔軟に対応するのであれば、ケアマネージャーとの間でどのような手順で進められるのか。市民へ考え方の周知はどうするのか。</p> <p>(2) 市独自の感染対策、PCR検査強化策について</p> <p>ア 検査経費は、一回の診療でどれくらいを見込んでいるのか。また、この事業に対して国庫補助金を一部受け取れるとしているが具体的にどういった内容か。</p> <p>イ PCR検査を受け入れる医療機関の検査体制を整え、市民に公開し、市独自に検査の助成を行い、疑わしい時には積極的に検査を受ける体制を充実すべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ ワクチンの安全性と接種後の副反応の問題があり、アナフィラキシーショックなど最悪のことも想定される。正確な情報提供と合わせ、補償の問題を明らかにし、周知することも重要になってくる。特別なコロナ禍での国の補償の考え方と具体的な内容はどうか。</p>
			<p>2 市内高等学校の統合に伴う跡地活用と存続の考察について</p> <p>(1) 旧県立喜多方商業高等学校敷地活用の取組について</p> <p>ア 整備スケジュール的には、複合施設の整備終了後に社会状況や財政状況等を勘案の上、必要に応じて構想の見直しを検討している。しかし、基本構想が示されているものの、中期財政計画にも盛り込まれていない現状で今後どのように進めて行くのか。</p> <p>イ 市で「旧喜多方商業高校跡地に関する庁内検討委員会」を設置し、跡地を購入して活用する考えが示され、現在も購入し活用することを前提として進められていると認識しているが、商業高等学校が更地になって以降、県との協議はどのように進んでいるのか。</p> <p>(2) 喜多方東高等学校跡地の活用について</p> <p>西会津町では、空き学校を庁舎として活用している。県民・市民感覚とすれば最大限に財産の活用を求めていると考える。県としての活用計画は、自治体と協議するとしているが、今後、どのような形で進められることになるのか。</p> <p>(3) 跡地を活用したまちづくりの全体構想について</p> <p>ア 旧商業高校跡地の基本構想が示され、耐震化が終了している東高校の活用、現在進められている複合施設に係る二期工事に対する考え方、公共施設等総合管理計画の個別事業との関連性、さらには、民間の団体が活用したいなどの話も出ている。</p> <p>市全体のまちづくりとして長期的総合的視点に立った今後の</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>あり方を示すべきと考えるがどうか。</p> <p>イ 受け皿となる合宿所などの施設が求められている。賄いは、市内事業者が請け負えばいいし、跡地を活用した整備についても考えるべきと思うがどうか。</p> <p>ウ オガールプロジェクトから情報収集し、どのように事業手法を学び、そのメリット・デメリットをどう考え、民間事業者参入の事業手法についてどう検討されているのか。</p> <p>(4) 耶麻農業高等学校の今後の考え方について</p> <p>ア 県教育委員会に対する要請行動に市長も同席し、統合に反対する要望書を手渡してきたが、1,345筆の署名の重みを市としてどのように受け止めているのか。</p> <p>イ 本市には小学校に農業科があり、素晴らしい取組が行われている。現在の耶麻農業高校の魅力を最大限に発揮できる教育環境の整備を行い、生徒数の確保を図る視点を持ち、市として県に働きかけをすべきと考えるがどうか。</p> <p>ウ 市として、大学と連携したサテライト校の考え方や地域の人材育成、教育の場としてのビジョンを積極的に提案すべきと考えるがどうか。</p>
7	1	小澤 誠	<p>1 「全世代型社会保障改革」に関して</p> <p>政府は昨年12月、いわゆる全世代型社会保障の具体的事業案をまとめました。</p> <p>(1) 75才以上の高齢者の医療費一部負担を、年収200万円以上は2割負担に引き上げることを決めました。対象者は370万人、これによる給付費減は1,930億円とされています。喜多方市の対象者は何人、診療抑制は何人に及び、金額はどのくらいになるのか。</p> <p>(2) 均等割未就学児1/2軽減の対象者は喜多方市では何人になるか、それによる国保税の軽減はどれくらいになるのか。</p> <p>2 介護保険の20年について</p> <p>読売新聞は「介護保険20年」特集のため、昨年1～2月、全国106自治体を対象とするアンケートを実施しました。そこでは約9割の自治体が、介護保険制度を今後10年現行のまま維持するのは「困難」と回答。その理由の1位は「人材や事業所の不足」(74%)、第2位は「保険料の上昇に住民が耐えられない」(64%)でした。</p> <p>喜多方市は大丈夫なのか、という問題意識を持って以下お尋ねいたします。</p> <p>(1) 喜多方市内の事業所のホームヘルパーの年齢構成は「20才台」「30～60才」「60才以上」がそれぞれ何%ですか。</p> <p>(2) 福島県の最低賃金は800円/時です。喜多方市内の福祉施設介護員(短時間)の1時間あたり所定内賃金はいくらですか。</p> <p>(3) 喜多方市の介護保険料(第1号被保険者)は5,480円/月です(基準額)、(最低額は2,466円/月)。年金が月額15,000円を下まわる人などは、市の窓口で納めます。介護保険料の滞納はありませんか。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>ペナルティとしての給付制限を受けている人は何人いますか。財産の差押さえをされている人は何人いますか。 すべて2019年度（令和元年度）現在で答えて下さい。</p> <p>3 市立図書館の運営について 市教育委員会の対応についてお尋ねいたします。 (1) 「喜多方市立図書館利用者アンケート結果報告書（平成30年度）」は喜多方市長及び教育委員会にも提出されているが、この中の質問、意見、要望、苦情などはどのようにいかされているのか。 (2) 「喜多方市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書（令和元年度）」では、図書館の活動を図書の利用促進についての評価しかないように思われるのだが、なぜか。 (3) 平成22年12月28日付総務省自治行政局長通知「指定管理者制度の運用について」はどのようにいかされているのか。</p>
8	20	佐原正秀	<p>1 持続可能な森林経営の推進について 森林環境譲与税、森林経営管理制度がスタートし、一年が経過しました。全国各地においては、新たな制度を活用し、これまで手入れが不足していた森林の整備やその準備作業、森林を担う人材育成、都市部においても山村部の自治体と連携した木材利用等が進められております。その一方で、これまで森林整備や木材利用に携わったことがなく、何から手を付けてよいかわからないといった戸惑いの声も聞こえてまいります。森林は国土面積の3分の2を占め、木材を生産するだけでなく、水を貯えたり、土砂が流れ出るのを防いだり、二酸化炭素を吸収し地球温暖化防止に貢献するなど、さまざまな恩恵を私たちに与えてくれます。これらの森林が持つ働きをこれからも引き続き発揮させていくためには、しっかりと森林の手入れを行い、健全な状態に保っていくことが重要となります。 そこで、下記により、持続可能な森林の取組についてお尋ねいたします。 (1) 新制度導入の取組について (2) 森林環境譲与税の対応について (3) 本市の現状と課題について (4) 実行体制の整備について (5) 今後に向けた対策について</p> <p>2 健康長寿のまちづくりについて 高齢期の健康に関し、健康寿命の延伸が国の施策の柱となっています。そのために、喜多方市民の健康意識は高まっておりますが、私たち一人ひとりが正しい健康の実態を理解し、科学的根拠に基づく予防対策を実行し、できるだけ疾病や介護状態を先送りし、健康寿命の延伸に向かって歩むことの重要性を学ぶことが求められます。今後ますます進行する高齢化社会を健全に生き抜くためには、個人の心構えと努力はもとより、社会の仕組みも変容していく必要があり、医療と介護の連携を充実させなければなりません。</p>



通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>そこで、特定健診の受診率の向上が、市全体の健康なまちづくりに結びつくものと考えます。今後の本市健康長寿に向けた体制についてお尋ねいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 特定健診の健康指標について</li> <li>(2) 2030年に向けての対策について</li> <li>(3) 健康寿命延伸の戦略について</li> <li>(4) ヘルスリテラシーの向上について</li> <li>(5) 健康格差と経済格差について</li> </ol> <p>3 グローカル教育の取組について</p> <p>グローカル化が加速する社会で活躍できる人材とは何か。それは、多様な価値観を持った人たちと国境を越えて関わりながら、次世代の問題を解決していく能力を持った人であると考えられます。単に英語が話せるスキルだけでは、グローカルな活躍はできません。広い世界で様々な国の人々とコミュニケーションを活発に図っていく等、そのためには自分の生まれ育った地域と日本の歴史や文化に誇りを持ち、他国の言語や文化、社会問題にも目を向けることが求められ、そのような取組がグローバルとローカルな視野を併せ持った人間に成長させるための考え方であります。また、今後の本市の教育の方向性と思われまます。そこで次により研究活動を進める教育の観点からお尋ねいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 郷土を愛し世界にも目を向ける子の育成について</li> <li>(2) 世界を知り自国の伝統文化を伝えることについて</li> <li>(3) 持続可能な学校と地域づくりについて</li> <li>(4) 持続可能な開発のための教育について</li> <li>(5) 子どもを抱きしめられる家庭づくりについて</li> <li>(6) 臨機応変の力を持つ子の育成について</li> <li>(7) 心の教育について</li> </ol>
9	4	十二村秀孝	<p>1 消防団組織及び災害時の非常食について</p> <p>全国の消防団員数は2年連続で1万人以上減少し、2020年では過去最少の約81万8,000人となり、消防庁では「危機的状況」と強調し、今年6月にも待遇改善の検討に入るとしています。そこで次の4点について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 本市の消防団員の報酬額について伺います。</li> <li>(2) 本市の消防団員は災害や行方不明者捜索など出動した際、出動手当が支払われていませんが、どのような経緯があったのか伺います。</li> <li>(3) 今年度の消防団員自動車運転免許取得等補助金の活用件数について伺います。</li> <li>(4) 本市において、災害時のために備蓄している非常食の内容・数量について伺います。</li> </ol> <p>2 今後のグリーン・ツーリズムの推進について</p> <p>グリーン・ツーリズム交流人口は未だ震災前の状態に回復しない</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>中、農業体験等を受け入れる農家も減少が見込まれ、受入体制の充実強化が必要であります。そこで次の2点について伺います。</p> <p>(1) 受入農家数（農業体験・農泊）の過去3年間の推移について伺います。</p> <p>(2) 受入農家の平均年間収入（農業体験・農泊）の過去3年間の推移について伺います。</p>
10	5	上野利一郎	<p>1 本市の塵芥処理状況について</p> <p>昨年から新しい生活様式の実践が推奨され、本市においても日常生活がどのように変わったのか。具体的には、国の緊急事態宣言を受けて、本市でも不要不急の外出制限で、出前やテイクアウトなどを含めた内食比率が高まるなど、家庭内での食事機会が増えたことで家庭からのごみ排出量はどのように変わったのか。</p> <p>また、本市における塵芥処理収集業務の課題等について以下の3点について伺います。</p> <p>(1) ごみの排出量と収集委託料の推移について</p> <p>ア 令和3年1月末までの家庭から排出される一般ごみに関して、令和元年度と比較して顕著な変化があったのかどうか伺います。</p> <p>イ 緊急事態宣言時期の短期的なごみ排出量の変化についても伺います。</p> <p>ウ 令和元年度から一般ごみの収集委託料が1千万円ほど増えていますが、その主な要因について伺います。</p> <p>エ 人口が減少しているにも関わらず、1人あたりのごみの排出量が増えている要因について伺います。</p> <p>(2) ごみ集積所について</p> <p>ア ごみ集積所の設置に関わる主な条件・基準について伺います。</p> <p>イ ごみ集積所の設置地区と未設置地区が見受けられますが、各行政区での対応の違いについて伺います。</p> <p>ウ ごみ集積所におけるこれまでの主な課題とその対策について伺います。</p> <p>(3) 収集業務の最適化と見える化について</p> <p>ア 喜多方の市街区においては収集ルートが入り組んでいる地区があり、収集業務の効率化と収集時間の予測、災害時の災害ごみ収集等の面で最適化が必要と思われますが、収集ルートの見直しを含めた改善の検討をされるのか伺います。</p> <p>イ ごみ集積所において、カラスや猫の被害による破損・散乱を防ぐため、収集車の収集予定時間に応じて、見張りボランティア活動を自主的に行っている地区もある。個人でも早めに出さずに収集予定時間に合わせてごみを出す家庭も見受けられることから、今年度から導入された「除雪機械運行管理システム」を活用したごみ収集車の位置情報を公開して、戸別収集や収集漏れへの対応ができるよう市民サービスの向上を図るべきと思うが、費用面も含めた実現の可能性について伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>2 有害鳥獣被害対策について</p> <p>本市におけるカラス・カワウなどの鳥類とクマ・シカ・サルの獣類生態系が長年にわたり観測・確認されている中で、近年においてはイノシシの目撃と被害件数が顕著となっています。主な対策として電気柵、追い払い用煙火などの追い払い対策と駆除実施隊による捕獲対策、河川における立木伐採等の獣道対策を行っていますが、個体数の増加にともない、農作物の被害額が年々増加しています。</p> <p>山間部をもつ熱塩加納、山都、高郷、喜多方の岩月地区などの行政区からの要望事項に占める割合も非常に高まっていることから、本市議会においても有害鳥獣被害対策についての質問が多く出されていますが、各対策の抜本的な方向性について以下の3点について伺います。</p> <p>(1) 追い払い対策について</p> <p>ア 電気柵の個人への購入補助事業を活用して個人枠の支援を増やしていくべきと考えますが、令和3年度の個人に対する説明会や設置講習会の開催の方針について伺います。</p> <p>イ 追い払い煙火の使用実績データとして、使用日時や場所のデータなどを蓄積すれば獣道予測が可能で、電気柵や檻、くくりわな等の効率的な設置計画のための基礎資料となりえると思うが、市当局の考え方を伺います。</p> <p>(2) 捕獲対策について</p> <p>ア 有害鳥獣の捕獲駆除報償について、過去3か年の支出額とその推移に関する考察について伺います。</p> <p>イ クマやイノシシなどの大型獣捕獲対策として、ライフル・スラッグ銃等の単弾使用者の育成のために、会津地区での射撃場の整備計画が示されましたが、クマ・イノシシ等の大幅な個体数増加に対応するためには、銃での捕獲とわなの設置回数と個数を増やすべきであり、そのためにも狩猟免許取得支援を強化すべきと考えます。具体的には、新規狩猟者育成事業における年間育成枠の拡大をすべきと考えますが、市当局の考え方を伺います。</p> <p>(3) 獣道対策について</p> <p>ア 集落環境診断で行っている主な内容について伺います。</p> <p>イ 河川の立木伐採と河川掘削は県主体の国土強靱化計画に基づいて実施されていますが、有害鳥獣被害対策の面では各地区での行政懇談会での要望事項に示された通り、立木伐採を最優先に進めてほしいとの声も多い。市当局としてはこれまでの鳥獣の痕跡や捕獲地点の実績から、県への要望箇所の優先度の絞り込みを行うべきと思うが、市当局の考え方を伺います。</p>
11	6	小島 雄一	<p>1 令和3年度の農業政策について</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外食店舗の営業の自粛により、米の需要は大きく落ち込んでいる。特に業務用米の比率が全国一高い本県産に対する影響は深刻である。農水省が示した令和3年の適正生産量は、ついに700万tを割り691万tとされている。本市の農</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>業の中心である米作りに更に大きな変化をもたらすことが予想される。そこで以下の質問をする。</p> <p>(1) 本市に示された令和3年産主食用米の生産数量の目安と経営所得安定対策の概要を伺う。</p> <p>ア 農家への配分方法はどのようにするのか伺う。</p> <p>イ 昨年までの配分した目安はどの程度守られているのか。また、その対策はどうしているのか伺う。</p> <p>ウ 国が打ち出している諸政策をどのように進めるのか伺う。</p> <p>(2) 県は令和4年産から市町村別の目安配分をやめる方針と聞くが、本市はどのように対応するのか伺う。</p> <p>(3) 水田農業の担い手の状況をそれぞれ件数と面積の現状と方向性を伺う。また、湯川ファームのような法人の設立は考えないのか伺う。</p> <p>2 喜多方市観光振興ビジョンについて</p> <p>本市には、自然、歴史、文化、食などの特色のある豊富な地域資源があり、これらを観光資源として活用しながら本市の特色をさらに生かした観光振興を図るというビジョンの趣旨には全く賛同する。また、本市観光の課題である滞在時間の短い観光から滞在型・着地型観光へということにも同意するが、その実現のための対策について伺う。</p> <p>(1) 施策の柱1の指標設定の根拠を伺う。</p> <p>(2) 本市の宿泊施設数とその受入可能数を伺う。</p> <p>(3) 特色ある宿泊施設の設置や開発を考えないのか伺う。</p>
12	9	菊地とも子	<p>1 SDGs（持続可能な開発目標）の取組について</p> <p>(1) 持続可能な開発目標は、一人ひとりが他人事ではなく、我が事として捉え実行することが重要です。SDGsの考え方を市民や事業所へ浸透させ、認識や理解が高まるよう、更なる普及啓発事業に取り組むべきと考えます。これまでの取組と今後の具体的取組について伺います。</p> <p>(2) 現在では、学校教育のなかでも様々な取組が進められ、子供たちへの意識啓発が行われています。未来を担う子供たちが、これからの目標について知り、考えることは非常に重要です。</p> <p>市内小中学校でのこれまでの取組と今後の取組について伺います。</p> <p>(3) 気候非常事態宣言及び2050二酸化炭素排出実質ゼロ宣言も含めた「脱炭素社会の構築」への今後の取組について伺います。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 市内事業者への更なる支援について伺います。</p> <p>(2) 生活困窮者のための生活支援やこころのケアなど、相談体制の強化を図ることが必要です。市の相談体制及び相談窓口の市民への周知について伺います。</p> <p>(3) 新型コロナウイルスワクチンは、市民が混乱なく早期に接種できる体制づくりが必要です。接種の方法とスケジュール、市民への周知について伺います。</p>

通告順	議席番号	質問者	質問事項及び質問要旨
			<p>(4) 障がい者や寝たきりの方への対応について伺います。</p> <p>3 人口増につながる戦略について            コロナ禍の中、都市から地方へ移住する方、移住を考える方が増えて            います。コロナ禍、そしてコロナ後の地方移住者については、本市            独自のターゲットを絞った大胆な取組、特徴的で魅力ある取組により            獲得していくことが必要だと考えます。どのように取り組んでいくの            か市長の考えを伺います。</p>
13	18	伊藤 弘明	<p>1 現状の選挙制度について</p> <p>(1) 各種選挙の投票率が低下傾向を続ける現状を踏まえて、民主主義の根幹となる投票の制度は今のままでいいと考えているのか。</p> <p>(2) 投票したいが諸事情で投票できない人が沢山いるという現状を踏まえ、選挙に対して行政ももっと真剣に考えて対応をしていくべきではないか。</p> <p>2 今後の人事の課題について</p> <p>(1) 令和3年度末に退職予定の職員が数多くいる。特に部課長がかつてないほど退職するが、それらに対する人事の課題についてどのように考えるか。</p> <p>(2) また、それらに対して具体的にどのように対応していくのか。</p> <p>3 観光交流課の仕事のあり方について</p> <p>(1) 各種催し、イベントを数多く抱える観光交流課の仕事の内容について、催しやイベントを消化することが目的になっていないか。</p> <p>(2) 市をますます良くしていくんだという大きな目標のもとに頑張っていてほしいが、日頃の忙しさの中で雑多な仕事が多すぎて、本来の良い企画を考えたり、それを実施したりする機会が減っているのではないかと心配するがどうか。</p> <p>(3) 高いノウハウの必要のない、会場設営のような仕事は極力民間に委託していったらいいのではないかと思うがどうか。</p>
14	1	矢吹 哲哉	<p>1 市長の「中央集権から地方分権」、「一極集中から多極分散」という考え方の転換が必要という考え方に基づく市政の具体的対応について</p> <p>(1) その考え方の転換に基づき、これまでの施策で転換しようとする施策は何か伺う。</p> <p>(2) 転換を求める施策について市長の見解を伺う。</p> <p>ア 安倍政権が行った農政の転換が必要と考える。</p> <p>(ア) 米の生産調整に国が責任を持ち、ただちに余剰米を国が買い上げ、米価の安定、2021年度の生産調整の過去最大の拡大をやめること</p> <p>(イ) 中小農家、中山間地への支援を強化し、多様な農業、農村の担い手を育成すること</p> <p>(ウ) 自由競争第一の自由貿易協定であるTPP等から離脱し、食糧主権、食糧自給率を高める農政に転換すること</p> <p>(エ) 国に戸別所得補償制度の復活を求めること</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>(カ) 市独自の農業、農村振興策で転換、見直す施策はあるのか伺う。</p> <p>イ 小中学校適正規模適正配置計画は中止し、現在の小中学校の存続を基本にしたまちづくり計画を小学校区単位で作成し、その実現のための組織（総合的まちづくり協議会）を設置することを求めるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(ア) 長期人口ビジョンに基づく再編計画は、その前提が崩れている。計画そのもの中止が必要と考える。必要なのは、持続可能なまちづくりで人口減少、特に若者の減少をどう止めるのか、知恵を出しあい努力すること。それには現在ある学校を存続させることではないか。市長の考えを伺う。</p> <p>(イ) 2～3クラス以上、1クラス35人という条件も転換が必要。なぜ、再編に当たり2060年の数値にこだわるのか伺う。</p> <p>(ウ) 上三宮小学校について具体的にどうしようとしているのか、市教育委員会の方針を伺う。</p>
15	8	蛭川靖弘	<p>1 本市の公共交通について 本市では、喜多方市地域公共交通再編実施計画を策定し、平成31年度から地域公共交通について具体的な取組を実施している。</p> <p>(1) 喜多方市地域公共交通再編実施計画は令和3年度までの計画となっているが、その進捗と目標達成（K P I）について伺う。</p> <p>(2) 予約型乗合交通の利用実績について、過去3年間の推移を伺う。</p> <p>(3) 昨年10月に喜多方市まちなか循環線の実証運行がスタートしているが、これまでの利用実績と、その分析について伺う。</p> <p>(4) 公共交通の整備について、「利用のし易さ」というのは大切な項目になると思うが、民間ではUberに代表されるようにwebやスマホを使った予約システムや運行情報の発信が不可欠と思われる。今後の実装計画について伺う。</p> <p>2 職員の登用について 東京オリパラ組織委員会会長の森喜朗氏が女性蔑視をするような発言をしたことで、世界中から日本が非難されることになり、日本における男女格差が問題視された。しかし、国内では昨年12月25日に第5次男女共同参画基本計画が閣議決定されており、男女共同参画89項目に数値目標を策定し「指導的地位」に就く女性の割合について2025年までの成果目標を掲げている。</p> <p>(1) 本市では15年ほど前に市役所職員の「指導的地位」への女性登用目標を掲げた時期があったが、その後、部課長職への女性登用に顕著な結果が見えてきていない。現在の管理職（課長職相当以上）への女性登用の状況を伺う。</p> <p>(2) 女性の管理職登用についての現状分析と、これからの考えについて伺う。</p> <p>(3) 昨年12月の閣議決定では、市町村職員の課長相当職に占める女性の割合を2025年には22%とすることを目標と掲げたが、本市での女性登用の目標について伺う。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>(4) 同様に閣議決定では小中学校の校長について、女性を20%にする目標であるが、現状分析と、これからの考えについて伺う。</p> <p>3 災害発生時の危機管理状況について            去る2月13日23時7分に、福島県沖でマグニチュード7.3の東日本大震災の余震とみられる地震が発生した。            幸いなことに本市では、大きな被害がなかったようであるが、巨大地震等の大規模な自然災害発生時と、その後の避難方法や避難所の開設、住民への情報発信について伺う。</p> <p>(1) 情報検索サイトで「喜多方市 地震情報」と検索すると、2月15日現在では気象庁の地震情報や各種ニュースサイト、天気予報サイトの地震情報しか表示されない。また市のwebサイトにおいても、2月15日まではトップページには地震直後のJアラートの情報が数行表示されていたが、2月16日には削除されており、緊急情報欄にもその履歴は表示されていない。            喜多方市の地震規模は震度4であったが、今回の地震発生後の当局の対応についてどのような判断と意思決定がなされ、市民へどのような情報発信を行ったかを伺う。</p> <p>(2) 地震の大きさや被害状況に差はあるものと理解はしているが、郡山市では地震発生直後の2月13日午後11時20分には対策本部が設置され、翌14日午前1時（地震発生から2時間後）には、3つの自主避難所が開設され、その情報が市内各所にFAXで送られており、その後2時間おきに順次避難所情報が更新され情報発信されている。            今後、本市で大きな地震や自然災害が発生した際の、災害対策本部の立ち上げの判断、時期、住民への情報発信について、基準と体制について伺う。</p>
16	17	佐藤忠孝	<p>1 入田付上水道未整備地区進捗状況について</p> <p>(1) 平成27年に国庫補助事業として岩月、上岩崎分岐から新田まで上水してタンクに貯め、その落差で水道供給出来ることとなりますが、供給開始まで、今後2年間の工事の内容を伺います。</p> <p>(2) また、令和4年度での完成に向け、当初の計画は田んぼ道を掘削し、水道管を埋設する計画でありましたが、時の流れにより旧国道121号が廃止、市道に格下げされたため、水道管理設工事の変更とその後の工事の計画に変わりはないのか伺います。</p> <p>(3) 今後の山間地の工事の入札のあり方について会派で要望書を提出しておりますが、今回の山間地の工事で水道管理設、その他舗装工事において、より品質のよい工事を行うためにどのような対応をしているか伺います。</p> <p>(4) また、今後、2年後の完成に向け、段階的に地域の皆さんに供給の話し合いも必要と考えられるが、更に本管から引き込み工事については個人負担もあるので、今後、水道加入を促進するような説明をするために説明会を開催し、他の地域の事例の紹介も必要と思</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>ますが考えを伺います。</p> <p>2 蔵の湯管理について</p> <p>(1) 蔵の湯は市民の憩いの場として市民の皆様方が利用されておりますが、この度の新型コロナウイルス感染症防止のために、3密を避けた入浴施設の対応を実行してきたが、サウナ室は元々狭く、7人ぐらいが精一杯の入室でありました。</p> <p>今回、コロナ禍により、蔵の湯の規定により5名の入室となっておりますが、いずれにしても狭いため、この度、サウナ会の20名の他、蔵の湯の隣が道の駅であり、入浴とサウナ浴の利用者が多く、サウナ室の改築を多くの方より要望が出ておりますので検討をお伺いいたします。</p> <p>(2) 蔵の湯の水風呂温度について前回も一般質問で、水風呂の温度の件で高齢者の危険度が高いため、安定した温度に出来ないのか質問を行いました。去年は温度調整して頂き、水温は17度に設定して頂き、サウナ利用者は満足していたのに、何故今年は、9～10度の設定になっておられるのか、その温度に下げた理由を伺います。</p> <p>また、利用者の中には「サウナ温度は95度と高い温度であって、急に冷たい水に入れば心臓麻痺の事故などが起きたら、誰が責任を取ることになるのか」など話になっており、大変になると思うから、早めに調整して頂きたいと思っておりますが伺います。</p> <p>(3) 大浴場等の管理体制について伺う。</p>
			<p>3 豊川・慶徳線改良工事について</p> <p>(1) 豊川・慶徳線改良工事のこれまでの進捗状況と、今後の高規格道路交差点までの工事の計画は令和5年まで完成となっておりますが工事の内容を伺います。</p> <p>(2) 現在、下勝・北町線の高規格道路入口までの住民との話し合い説明会はどのようになっていますか伺います。</p> <p>(3) 高規格道路入口は公安委員会との話し合いになるかと思いますが、現在の交差点では問題があると思うが、どのような交差点になるのか伺います。</p>